

2010年7月1日～2020年6月30日の間に
胆道癌および膵臓癌の肺転移に対して手術を受けられた方へ

-「胆道・膵臓癌肺転移切除症例に関する臨床的研究 1.後方視的研究」へご協力をお願い-

1 研究の目的

過去に受診された胆道癌（肝内・肝外胆管癌、胆嚢癌）、および膵臓癌の肺転移例に対して完全切除が施行された患者さんの診療録（カルテ）の情報を収集し、研究を行うことといたしました。この研究は上記肺転移症例に対する局所療法としての肺切除術が、妥当な治療法であるか否かを検討し、実臨床における治療方針決定の新たな判断材料を提供することを目的としたものであり、今後の診療にも役立つことができると考えています。

2 研究対象者

2010年7月1日～2020年6月30日の間に当院および共同研究機関で胆道癌（肝内・肝外胆管癌、胆嚢癌）、および膵臓癌の肺転移例に対して手術が施行された患者さん。

全体で約50名、当院での対象者は4名の予定です。

3 研究期間

倫理委員会承認後～2024年6月30日

4 研究方法

（対象となる患者さん）2010年7月から2020年6月に共同研究機関に所属し本研究に協力可能な施設で胆道癌（肝内・肝外胆管癌、胆嚢癌）、および膵臓癌の肺転移例に対して手術が施行された患者さんのカルテ情報を収集、分析します。

（利用するカルテ情報）性別、年齢、手術日、合併症、既往歴、身体所見、血液検査データ、画像検査データ、治療状況、病理検査所見 等

5 共同研究について

この研究は、他の病院や研究施設と共同で行っています。

対象となる患者さんのデータは、匿名化されて、愛媛大学医学部附属病院および岡山大学病院内で厳重に取り扱われます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピュータに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存されます。多くの情報を解析することで、医学・医療の発展に役立つ成果が得られることが期待されます。

6 研究計画書および個人情報の開示

収集した情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を除いて匿名化いたします。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

7 問い合わせ・連絡先

独立行政法人国立病院機構四国がんセンター

呼吸器外科 山下 素弘

住所：〒791-0280 愛媛県松山市南梅本町甲160 電話：089-999-1111

8 研究組織

研究代表機関・代表者：愛媛大学医学部附属病院 呼吸器センター 准教授 佐野 由文
共同研究機関：

岡山大学病院	山口宇部医療センター	岡山労災病院	岡山赤十字病院
岡山医療センター	三豊総合病院	岡山済生会総合病院	岩国医療センター
四国がんセンター	中国中央病院	赤穂中央病院	津山中央病院
尾道市立市民病院	福山医療センター	広島市立広島市民病院	松山市民病院
香川県立中央病院	姫路赤十字病院	香川労災病院	呉共済病院
島根大学医学部附属病院			